



クマと人の 共存をめざして

福井県では、近年クマの分布が拡大し、
市街地への出没や人身事故が発生しています。
クマによる被害を防ぐためには、
クマの性質や行動を知って、
適切な対策を行うことが大切です。



福井県

クマってどんな動物？



身体の特徴・能力

成獣(4歳以上)の身体

頭胴長：110～140cm

体 高：50～60cm

体 重：オス60～150kg
メス40～80kg

※季節によって大きく異なる

全身黒い毛におおわれていて、
胸には三日月型の白斑がある
※白斑がない個体もいる



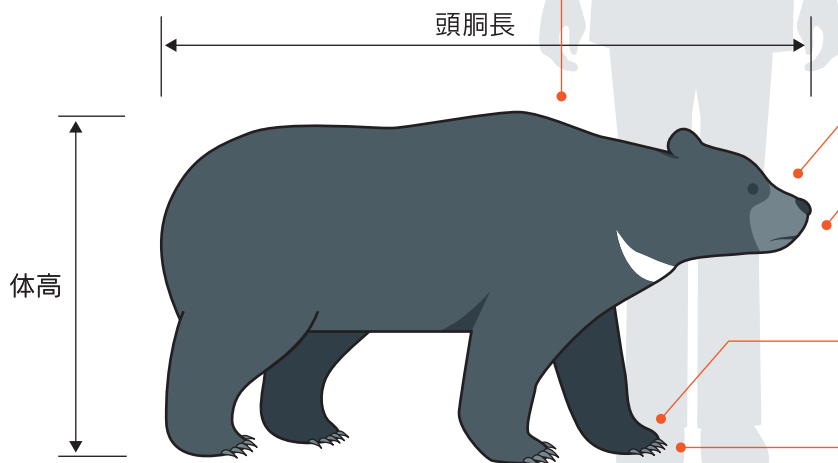
・鋭い牙と堅い食物を
すりつぶせる奥歯
・植物食中心の雑食性

鋭い爪があり、
木登りがうまい



・耳と鼻が良い
・目はあまり良くない

時速約40km/hで走ることができる



性格・行動

- ・臆病・慎重で、暗く狭いところを好む。
- ・急に人に出会うなど、危険を感じると襲ってくることもある。
- ・昼行性だが、人里では暗い時間に行動。
- ・逃げるものを追いかける。



クマの分布域

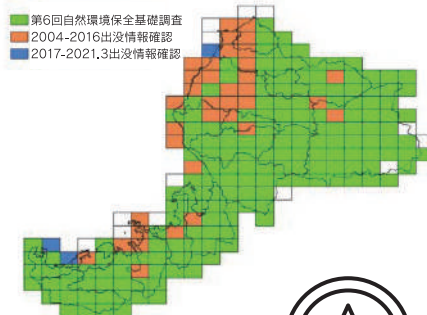
北海道にはヒグマ、
本州以南にはツキノワグマが
生息しています。



(環境省自然環境局生物多様性センター2019)

ツキノワグマは他の大型獣に比べ繁殖力が弱く、
九州では既に絶滅、四国などでは環境省レッドリスト
により絶滅の恐れのある地域個体群に指定されてい
ます。

一方、クマの生
息に適した落葉
広葉樹の森が豊
富な福井県では、
近年クマの分布
が拡大し県全域
がクマの生息地
になっています。



クマの1年間の暮らし

季節ごとのクマの暮らしを理解して被害に遭わないようにしましょう。

秋

冬眠前、食物を求めて人里に出没するクマに注意！

〈主な食物〉

ブナ、ミズナラ、クリなどの堅果、ヤマブドウ、サルナシなどの木の実



キノコ狩りは
ほどほどに！

冬眠・出産に備えて
たくさん食べる

山の実りが少ない年には、
柿などを求めて人里に多く
出没することも (p.4参照)

〈主な食物〉

ミズキ、サクラ類などの木の実、
アリ、ハチなどの昆虫類



繁殖期のため
オスは活発に行動
子連れのメスは
オスを避けて人里
に出没することも

1歳半の子グマが親別れ
オスの子グマは新天地を
求めて歩き回り、人里に
出没することも

登山や釣り、キャンプでの
遭遇にも気を付けて

親別れ・繁殖期で
人里に活動域を広げる
クマの出没に注意！

夏

冬

冬眠中は何も食べない

秋に十分に栄養を取ること
ができたメスだけが、
冬眠中に1～3頭を出産

1歳までは母親と
一緒に冬眠

冬眠

出産

交尾

親別れ

〈主な食物〉

ブナなどの花・葉芽、
ササ類のタケノコ、
セリなど



山菜狩りは
ほどほどに！

冬眠から目覚めたクマとの
遭遇に注意！

春

山や川に行くときの対策はp.6をご覧ください。

クマが人里に現れるわけ



どうしてクマの分布が広がったの？

私たちの暮らしの変化が大きく影響しています。



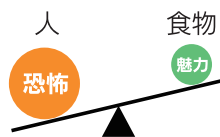
昭和30年代
(燃料革命以前)

山 木を伐採し薪・炭などに利用
→ クマの生息に適した森林はない



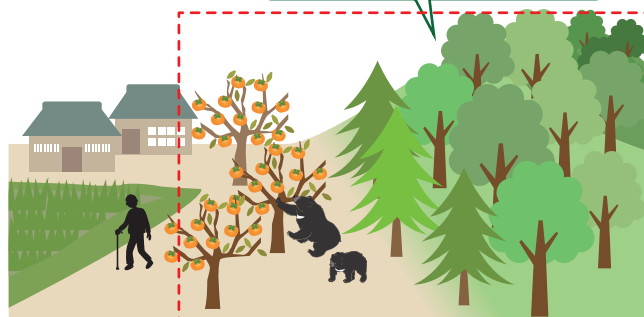
クマは山奥へ →

集落 ・多くの人が暮らす
・柿や栗の実を利用
→ クマにとって魅力の少ない怖い場所



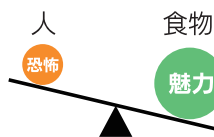
現在

山 木を伐採・利用しない
→ クマが生息しやすい森林



← クマは集落へ 農作物被害や人身被害につながる

集落 ・過疎・高齢化
・柿や栗の実を放置
→ クマにとって魅力的な怖くない場所



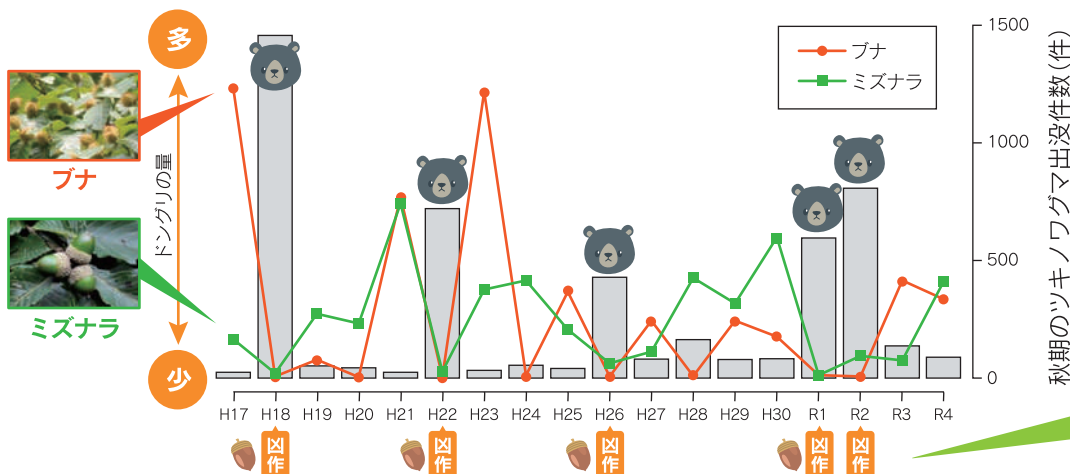
クマの生息に適した森林が集落付近まで広がったことや、集落の過疎・高齢化により、クマは人を恐れずに集落内にある栄養豊富な柿や栗の実を食べられるようになりました。

どうして年によって大量に出没するの？

ドングリの実る量が大きく関係しています。



クマの秋の主な食物となるブナ、ミズナラの堅果(ドングリ)は、年によって実る量が大きく変わります。ブナとミズナラがそろって凶作になると、山にある食物が不足するので、たくさんのクマが食物を求めて人里に出没します。



県自然保護センターでは毎年夏にドングリの量を調べ、秋のクマの出没予測を行っています。

ブナとミズナラのドングリがそろって凶作となったH18・H22・H26・R1・R2の秋は、県内でクマの大量出没が発生しました。

クマによる人身被害防止のために

クマを引き寄せない、人馴れさせないために

人里の食べ物の味を覚えさせない。



【柿や栗などの果樹の管理】

人里に多く植えられた柿や栗などの果樹は、クマを集落に引き寄せ人身被害を引き起こす要因になるため、適切に管理することが必要です。



低くして収穫しやすく



果樹は早めに収穫する

管理しにくい
山ぎわの柿は伐採

【生ごみ等の管理はしっかりと】

生ごみ、米ぬか、コンポスト、機械油、飼料などはクマを人里に誘引するので、クマの出没の恐れのある場所や時期には放置しないようにしましょう。



潜み場所・移動経路をなくす。



【藪を伐採して見通しの良い環境を作る】

近寄りやすい環境



近寄りにくい環境



山ぎわや住居、通路周辺では、クマが隠れやすい藪や草むらは刈り払って見通し良くしましょう。



山ぎわの電気柵は侵入防止に役立ちます。(クマの出没が多い年には11月まで張っておきましょう)

クマによる人身被害防止のために

突然の遭遇を防ぐために

①クマの目撃情報の確認

- ・ 県のWEBサイト「福井クマ情報」(p.8) や新聞で目撃情報を確認しましょう。

②自分の身を守るための予防対策

人里

- ・ 朝晩の散歩やジョギングは、ひらけた見通しの良いところを選ぶ。
※犬を連れていくと、クマが危険を感じて襲ってくる可能性があります。
- ・ クマがいるかもしれない場所(茂みや果樹などが植えられた場所)にはむやみに近づかない。

山

- ・ 単独行動は避ける。
- ・ クマに自分の存在を知らせる。(クマよけ鈴、ラジオなど)
- ・ 子グマには絶対に近づかない! 母グマが近くにいます。
- ・ クマの痕跡を見つけたらその先に立ち入らない。

早朝や夕方は
注意が必要



クマに存在を知らせる
大勢で行動する



クマの痕跡を知っておこう



足跡



木の幹に残った爪跡

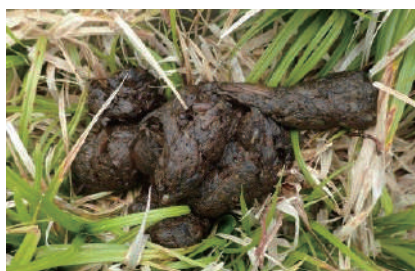


クマ棚

クマが樹上で枝を折って
木の実を食べた跡



ミズキ等の実を含む糞



草や葉の繊維を含む糞



柿の実を含む糞

クマによる人身被害防止のために

それでもクマに出会ってしまったら

【とにかく落ち着く】

◇クマまでの距離があるようなら、そっと立ち去ってください。

◇急に大声を出さないでください。

- ・大声を出したり、ものを投げつけたりするとクマは興奮します。
- ・クマに逃げる機会を与えるよう心がけてください。
- ・静かに退避してください。
- ・背中を見せて走って逃げたりしないでください。
- ・逃げると本能的に追いかけてきます。
- ・クマから目を離さないようにして、できるだけゆっくりと後退してください。
- ・持ち物や帽子、衣類を静かに地面に置いてクマの注意をそらしてください。
- ・クマとの間に立木などの障害物がある位置に移動できれば、突進を防ぐこともできます。



【攻撃が避けられないときは、急所を守る】

◇もう攻撃は避けられない状況になったら、すばやく地面のくぼみにうつ伏せになり、両手で首の後ろをガードします。

◇ザックを担いでいれば背中を守られ、一番大事な頭部、首部が守られます。



もしもの遭遇に備えて…クマ撃退スプレー



- ・トウガラシの辛味成分カプサイシンを噴射するスプレーです。
- ・万一攻撃を受けそうになった時、クマの顔に向けて噴射することで攻撃を回避することが期待できます。
- ・危険物のため使用法を理解しておく必要があります。

クマと人の共存に向けて

県では、クマの地域個体群の安定的維持を図りつつ、人身被害を防止するため、「第3期ツキノワグマ保護計画」に基づき、年間捕獲上限を設定したクマの保護管理を行うとともに、奥山、里山、集落等のゾーニングを行い、人とクマの棲み分けによる被害対策を進めています。

奥山

生息保護地域

クマが安心して暮らすことができる環境を守ります。

豊かな自然林(ブナ林)



針広混交林



回廊地域

クマの保護地域として、自然豊かな森の回復(針広混交林化)をめざします。



立て看板で事故防止!

クマ目撃情報について

目撃情報を公開しています!



県のWEBサイト「福井クマ情報(FBI)」では、県内で目撃されたクマの位置、日時などがご覧いただけます。メールでの情報提供も行っています。

福井クマ情報



目撃情報をお寄せください!



クマを見かけたら、市町の鳥獣害対策担当課または最寄りの警察署まで情報をお寄せください。寄せられた情報は「福井クマ情報」で公開するなど、出沒対策に活用させていただきます。



クマの生態や保護管理に関する問い合わせ先



- ・福井県安全環境部自然環境課 TEL.0776-20-0306
- ・福井県自然保護センター TEL.0779-67-1655

※お住まいの地域の被害対策については市町にお問い合わせ下さい。